

地域農林経済学会

<第56回大会>

第55回地域農林経済学会大会は桃山学院大学において、2006年10月27日～29日の3日間にわたり開催された。

<研究大会>

第1日目(市民公開特別シンポジウム 10月27日(金) [10:00～15:00])

テーマ:『食はエンタテインメントだ!! - 食の楽しみと食文化の再構築 -』

座長解題 食の楽しみと食文化の再構築

- 食料産業の今日的課題 (『食育基本法』を踏まえつつ) -

岸本 裕一 (桃山学院大学経営学部教授)

第1報告 食のエンタテインメントとは何か? - 食卓と音楽の融合 -

美山 良夫 (慶應義塾大学文学部教授)

第2報告 なにわの食文化の真髄とエンタテインメント性の実現

- 『わが国初のファミリーレストラン』のこれまでと今後 -

柿木 道子 (くいだおれ女将)

第3報告 食のエンタテインメント性の実現における酒類の役割

右田 圭司 (〔株〕酒類総研代表取締役)

第4報告 食のエンタテインメントを実現するラグジュアリー・レストランのあり方

上垣 清司 (ウエスティンホテル大阪地中海レストラン「ステラマリス」シェフ)

コメンティーター 清水 正博 (〔株〕イズミヤ総研代表取締役)

隅田 孝 (桃山学院大学経営学部兼任講師)

加古 敏之 (神戸大学農学部教授)

第2日目(10月29日、土曜日、9:00～16:00)

大会シンポジウム

大会シンポジウム 10月28日(土) [9:00～16:00]

共通論題:『地域農林経済学研究者の役割と評価 - 社会貢献の視点より -』

座長 小池 恒男 (滋賀県立大学環境科学部)

基調講演 藤谷 築次 (農業開発研修センター)

地域農林経済研究と研究者への期待

第1報告 原田 節也 (美作大学)

地域農業のニ・ズに対応した農業経営研究の課題

- 農水省の研究機関を中心として -

第2報告 大学の農林経済教員の地域貢献とその意義・限界

木村 伸男 (岩手大学農学部)

第3報告 パラダイムとしての「アフリカ小農世界」

- 農林経済学の20世紀のアポリアを超えて -

杉村 和彦 (福井県立大学学術教養センター)

コメンテーター 大原興太郎 (三重大学生物資源学部)

青柳 斉 (新潟大学農学部)

辻村 英之 (京都大学農学研究科)

辻 和良 (和歌山県農林水産総合技術センター農業試験場)

若手コメンテーター 家串 哲生 (酪農学園大学)

第3日目(10月29日、日曜日、9:00~17:00)

ミニシンポジウム(14:00~17:00)

テーマ:「食料純輸入国の農政デザイン - 市場開放と直接支払 - 」

第1報告 台湾農政の新たな課題」

林國慶・陳郁蕙 (国立台湾大学)

第2報告 韓国農業における直接支払制度の展開と課題」

李栄萬・任廷彬 (慶尚大学校)

第3報告 包括的な直接支払制度の確立後のスイス農政」

R. ヨーリン (スイス連邦工科大学)

T. マイヤー (スイス連邦政府経済省農業局)

第4報告 日本の直接支払制度の特質と有効性」

飯國 芳明 (高知大学)、増田 佳昭 (滋賀県立大学)

個別研究報告(9:00~14:00)

第1会場 農業政策・資源管理・環境・計量

座長:松下 秀介(筑波大学) 9:00~10:30

1 - 1 食料安全保障の視点から見た農地保全水準と農地保全対策

井上智博(岡山大学大学院)

佐藤豊信(岡山大学)

駄田井久(岡山大学)

1 - 2 中山間地域における非農家の労働資源活用による耕作放棄対策

池見亮(岡山大学大学院)

佐藤豊信(岡山大学)

駄田井久(岡山大学)

1 - 3 耕作放棄に至るまでの農地利用の変遷と農家行動分析

- 中山間地域の農家を対象として -

吉田晋一（岡山大学大学院）
佐藤豊信（岡山大学）
駄田井久（岡山大学）

座長：藤本 高志（大阪経済大学） 10:30～12:00

- 1 - 4 笠岡湾干拓地における環境及び経営経済的に持続的な農業生産システムの構築
竹内重吉（岡山大学大学院）
佐藤豊信（岡山大学）
駄田井久（岡山大学）
- 1 - 5 「壁」に直面する環境農業直接支払い施策
- ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州の MEKA プログラムを例に -
富岡昌雄（滋賀県立大学）
- 1 - 6 サンゴの海の生物多様性の経済評価：高知県柏島の海を事例として
新保輝幸（高知大学）

座長：加賀爪 優（京都大学） 12:30～14:30

- 1 - 7 日本・オーストラリア・ニュージーランド間自由貿易協定締結が経済および環境に及ぼす影響 - 応用一般均衡分析と余剰室素分析からの接近 -
澤内大輔（北海道大学大学院）
増田清敬（北海道大学大学院）
山本康貴（北海道大学）
出村克彦（北海道大学）
- 1 - 8 水田用水の経済評価 - Random Parameter Multinomial Logit モデルの適用 -
國光洋二（農業工学研究所）
- 1 - 9 肉用牛経営の個別属性や経営意識が家畜排泄物の処理・利用に及ぼす影響
長命洋佑（京都大学大学院）
揖斐隆之（安愚楽共済牧場）・
仙田徹志（香川大学）
森佳子（島根大学）
広岡博之（京都大学）
- 1 - 10 Bottlenecks and Strategies for Implementation of Sustainable Biomass Utilization in Energy Generation Programs
Naveeda Qaseem（三重大学大学院）
Tomohiro Uchiyama（三重大学）
Kotaro Ohara（三重大学）

第2会場 農協・農業経営・産地育成・地域づくり

座長:小松 泰信(岡山大学) 9:00～10:30

- 2 - 1 総合農協の総合生産性格差に関する経済収束分析
- 北海道酪農地帯の総合農協を事例として -

近藤功庸(旭川大学)
笹木潤(東京農業大学)
山本康貴(北海道大学)

- 2 - 2 新規参入者の経営動向と新規就農支援制度の課題に関する一考察
- JA やさと「ゆめファーム新規就農研修制度」を事例に -

高津英俊(高崎経済大学大学院)

- 2 - 3 新規参入経営のスタートアップ期における経営管理の特徴と課題
- ハウスイチゴ作を事例として -

島義史(近畿中国四国農業研究センター)

座長:横溝 功(岡山大学) 10:30～12:00

- 2 - 4 良質米生産地帯における飼料イネの定着可能性と支援方法

土田志郎(中央農業総合研究センター)

- 2 - 5 農業経営における障害者雇用のマネジメント

片倉和人(農村工学研究所)
山下仁(農村工学研究所)
工藤清光(農村工学研究所)

- 2 - 6 軽労型の飼料イネ直播技術が高齢者主体の営農組合に与える影響と効果

加藤克明(近畿中国四国農業研究センター)

棚田光雄(近畿中国四国農業研究センター)

座長:伊庭 治彦(神戸大学) 12:30～14:00

- 2 - 7 地域づくり組織における人的資源の特性と活性化課題
- 活動に関する能力・スキル意識を中心として -

福田恵子(岡山大学大学院)
佐藤豊信(岡山大学)
駄田井久(岡山大学)

- 2 - 8 農業研究のアウトリーチ活動に関する一考察

- パン用小麦「ミナミノカオリ」育種研究を事例として -

河野恵伸(中央農業総合研究センター)
星野康人(中央農業総合研究センター)

大浦裕二（中央農業総合研究センター）
佐藤和憲（中央農業総合研究センター）
小田俊介（九州沖縄農業研究センター）

2 - 9 田舎暮らし希望者のニーズと支援方策に関する研究

- 京都府における田舎暮らしワークショップ参加者に対するアンケートに基づいて -
中西宏彰（京都府立大学）
桂 明宏（京都府立大学）

第3会場 農業生産の担い手・新規就農・定住・農村都市交流

座長:桂 明宏(京都府立大学) 9:00~10:30

3 - 1 山口県における集落営農の成立要因と広域展開の可能性

糸原義人（山口大学）

3 - 2 高知県香長平野における水稻作業受託組織の展開

松島貴則（高知大学）

氏原千佳（高知大学）

3 - 3 中山間地域における集落生活と役割分担

佐藤あゆ子（京都大学大学院）

座長:北川 太一(福井県立大学) 10:30~12:00

3 - 4 地域ぐるみ共同活動への参加意欲の形成要因と組織管理に関する考察

伊庭治彦（神戸大学）

・本田恭子（京都大学大学院）

小田滋晃（京都大学）

3 - 5 新規定住者を受け入れる農村の意識と立地条件に関する研究

- 京都府の中山間地域を事例として -

小森聡（京都府農業総合研究所）

3 - 6 中高年者の村落への移住に関する一考察 - 山口県山口市を事例として -

森博志（鳥取大学大学院）

糸原義人（山口大学農学部）

座長:宮崎 猛(京都府立大学) 12:30~14:30

3 - 7 農へ向かう都市住民に及ぼす学びの場の役割

- 赤目自然農塾による「自然農」の広がりを中心に -

外園信吾（三重大学大学院）

大原興太郎（三重大学）

3 - 8 日本における農村民宿の発展可能性について

中林吉幸（島根大学）

3 - 9 利用者の行動と意識にみる滞在型市民農園における「交流」と問題

- 兵庫県篠山市の2事例の比較 -

中塚雅也(神戸大学)

横山玟洙(神戸大学大学院)

3 - 10 滞在型市民農園における「交流」とマネジメントの関係

- 兵庫県篠山市の2事例の比較 -

横山玟洙(神戸大学大学院)

中塚雅也(神戸大学)

第4会場 マーケティング・アグリビジネス・食料の需要

座長:秋津 元輝(京都大学) 9:00 ~ 10:30

4 - 1 環境保全型農業の取り組みと地域ブランドの確立に関する研究

- 兵庫県豊岡市における「コウノトリ育む農法」の取り組みを事例として

南朋子(京都府立大学大学院)

4 - 2 地域ブランドの品質規定における正当化の論理

- 賀茂なすの伝統産地と新興産地を事例として -

鬼頭弥生(京都大学大学院)

4 - 3 希少品種の地産地消の実態と産地の課題

- 京の伝統野菜「山科ナス」を事例として -

足利幸(京都府農業総合研究所)

小森聡(京都府農業総合研究所)

座長:堀田 学(広島県立大学) 10:30 ~ 11:30

4 - 4 百貨店の野菜販売の実態と特徴に関する研究

- 大阪市の都心部・ターミナル型百貨店を事例として -

平松麻美(京都大学大学院)

4 - 5 顧客との関係性強化による米産地の販売活動

金岡正樹(九州沖縄農業研究センター)

座長:中村 貴子(京都府立大学) 11:30 ~ 12:30

4 - 6 農産物直売所の展開の特徴と生産者

小柴有理江(金沢大学文学部)

4 - 7 農産直売所におけるマーケティング戦略の構築

- 安全・安心の視点から -

駄田井久(岡山大学)

佐藤豊信(岡山大学)

石井盟人（岡山大学）

座長：沈 金虎（京都大学） 13:00～14:30

4 - 8 食料および非食料輸入の需要体系分析

谷村幸恵（神戸大学）

谷顕子（神戸大学）

草苺仁（神戸大学）

4 - 9 家計における生鮮果物消費の減少要因

阪本亮（神戸大学）

中祐子（神戸大学）

草苺仁（神戸大学）

4 - 10 農業に関する中国における制度会計の特徴について

- 国際会計基準第 41 号「農業」と比較して -

恩和吉日嘎拉（鳥取大学大学院）

古塚秀夫（鳥取大学）

第5会場 食の安全・有機農業・農村整備

座長：大森 けんいち（近畿大学） 9:00～10:30

5 - 1 地域水田農業の将来予測における経営情報の寄与率に関する検討

- マルチエージェントモデル『ASMAP』の適用条件 -

山下良平（神戸大学大学院）

星野敏（神戸大学）

5 - 2 農業水利施設における地域住民の評価と改善項目に関する研究

- 愛媛県道後平野の三地区を事例として -

矢田淳士（愛媛大学大学院）

山藤篤（愛媛大学大学院）

松岡淳（愛媛大学）

5 - 3 広域農道によるリダンダンシー機能の効果分析

伊藤寛幸（株式会社ルーラルエンジニア）

林岳（農林水産省農林水産政策研究所）

山本充（小樽商科大学）

座長：新山 陽子（京都大学） 10:30～12:00

5 - 4 日米輸入解禁交渉後における国産・輸入リンゴの消費者意識

- 安全性問題を中心として -

中村哲也（共栄大学）

丸山敦史（千葉大学）
慶野征じ（千葉大学）

5 - 5 「牛の月齢判別に関する検討会」報告書に対する検証
樋口倫生（農林水産省農林水産政策研究所）

5 - 6 牛肉の原産国プレミアムの計測
- 輸入自由化と BSE の影響について -
川島滋和（宮城大学）

座長：波多野 豪（三重大学） 12:30 ~ 14:00

5 - 7 福岡正信の「自然農法」の変遷 - 伊予市大平地区を中心として -
宮脇和人（愛媛大学大学院）
細川隆雄（愛媛大学）

5 - 8 農業分野における外国人労働者受け入れ問題と新たなシステム構築の可能性に関する一考察 - 農事組合法人・無茶々園を事例として -
片岡美喜（高崎経済大学）
家串哲生（酪農学園大学）

5 - 9 有機農産物の出荷の安定化に関する考察
谷口葉子（神戸大学大学院）

第6会場 海外農業・農村

座長：福井 清一（神戸大学） 9:00 ~ 11:00

6 - 1 Assessment of food self sufficiency and food security situation in Nepal
MAHARJAN, Keshav Lall（広島大学）
JOSHI, Niraj Prakash（広島大学大学院）

6 - 2 Analysis of Food Balance and Land Management System in Central Hills of Nepal
MAHARJAN, Keshav Lall（広島大学）
JOSHI, Narendra Mangal（広島大学大学院）

6 - 3 タイにおける熱帯果樹産地の輸出構造
- 農民グループによる輸出対応のメカニズム -
久賀みず保（広島大学大学院）

6 - 4 タイ北部における農薬・化学肥料の使用実態と代替技術の到達点
内山智裕（三重大学）

馬場讓（元青年海外協力隊）

座長：胡 柏（愛媛大学） 11:00～12:00

- 6 - 4 調和の取れた社会を構築する時代における総合農場政策の展開方向
- 麗江市の新農村建設を例として

張 建平（中央民族大学）

李克強等（中央民族大学）

- 6 - 5 中国新農村建設と郷村の社会管理体制の改革

烏日図（神戸大学大学院）

星野敏（神戸大学）

座長：辻村 英之（京都大学） 12:30～14:00

- 6 - 6 南アの農地改革による組織型農業経営の制約要因

羽田幸代（神戸大学大学院）

池上甲一（近畿大学）

- 6 - 7 Impact of FTA Within Eastern and Southern Africa Countries and Unilateral
Tariff Elimination by other Regions

Kelali Adhana Tekle（鳥取大学大学院）

亀山宏（香川大学）

伊東正一（九州大学）

系原義人（山口大学）

- 6 - 8 日本における多国籍アグリビジネスの撤退と産地移転
- ドール・ジャパンの国際野菜事業を中心に -

関根佳恵（京都大学大学院）

座長：池上 甲一（近畿大学） 14:00～15:00

- 6 - 9 Reform of Water pricing Policy: Effect on Water Management in Irrigation Scheme
in Algeria

Laoubi Khaled（広島大学大学院）

Yamao Masahiro（広島大学大学院）

- 6 - 10 REVIEW OF WOMEN FARMERS STATUS IN JAPAN: ANALYSIS FROM
EMPOWERMENT INDICATORS

Tijani Sarafat A.（広島大学）

Yano Izumi（広島大学）

第7会場 農法・海外農業

座長：野田 公夫（京都大学） 9:30～10:00

- 7 - 1 近世末における農事試験 - 稲品種の収量比較試験 -

内田和義 (島根大学)

座長 : 河合 明宣 (放送大学) 10:00 ~ 11:00

- 7 - 2 Study on Block Supervisors ' Extension Skills in Bangladesh
-A Case of four upazilas (sub-district) in Kishorganj district-

Mohammad Jiaul Hoque (鳥取大学大学院)

Koichi Usami (山口大学)

- 7 - 3 Role of microfinance in building trust as a social capital in rural Bangladesh

Saharia Knahk (高知大学)

Toshinori Morooka (高知大学)

飯國芳明 (高知大学)

座長 : ケシャプラルマハラジャン (広島大学) 11:00 ~ 12:30

- 7 - 5 State of rural micro-enterprises in Bangladesh: A case study on Comilla Sadar
Upazila (Sub-district) . . .

Mohammad Abdul Malek (山口大学大学院)

Koichi Usami (山口大学農学部)

- 7 - 6 Information Source used by the Farmers Regarding Practice of Organic Farming
-A study from Bangladesh

MD. Asaduzzaman Sarker (山口大学)

Yoshihito Itohara (山口大学)

- 7 - 7 Characteristics of Service Changes of Micro finance Institutions: The Case of
MF-NGOs in Bangladesh

Hawlder MD. Abdul Malek (鳥取大学)

Taniguchi Kenji (鳥取大学)

Islam Mohd Nazil (鳥取大学)

座長 : 河村 能夫 (龍谷大学) 13:00 ~ 14:30

- 7 - 8 Status of Social Capital and Community Empowerment: A Study in the Contexts
of Organic and Conventional Farming Systems in Bangladesh

M. Hammadur Rahman (広島大学)

Masahiro Yamao (広島大学)

- 7 - 9 Farmer ' s ad tion of neem as an organic pesticide in Nagpur, India: A case
study of " The Neem Foundation " activities

Joshi Abhey (神戸大学大学院)

- 7 - 10 灌漑化が畜産の経営選択行動に及ぼす影響
- トルコ共和国農村部を事例として -

丸健 (京都大学大学院)

< 総 会 議 事 録 >

日時 2006年 10月28日(土) 16:30~17:30

場所 桃山学院大学 ハイビジョン・シアター

議長 慶野征じ

1. 会長挨拶

辻井会長より開会の挨拶がなされた。

2. 議長選出

慶野征氏が議長に選出された。

3. 議事録署名人選出

大泉賢吾氏、古塚秀夫氏が議事録署名人に選出された。

4. 報告事項及び協議事項

(1) 常任理事会・大会実行委員会報告

吉田庶務担当常任理事より、2006年度の常任理事会・大会実行委員会について報告があり、了承された。

(2) 2006年度事業中間報告および会計中間報告について

大石庶務担当常任理事より、2006年度事業中間報告が、また浦出会計担当常任理事より、2006年度会計中間報告がそれぞれなされ、了承された。

(3) 2005年度事業報告・会計報告および会計監査報告

大石庶務担当常任理事より、2005年度事業報告がなされた。次に、浦出会計担当常任理事より、2005年度会計報告(案)の説明がなされ、併せて高田監事より、2005年度の会計監査を行った結果として、会計処理が適正に行われている旨の報告がなされた。これらについて審議を行った結果、すべてが承認された。

(4) 2007年度事業計画および予算について

大石庶務担当常任理事より、2007年度事業計画について説明がなされ、また、浦出会計担当常任理事より、2007年度予算（案）について説明がなされ、審議を行った結果、すべてが承認された。

（５）会費前納制度への移行について

浦出会計担当常任理事より、従来、毎年１月であった会費請求時期を前倒しし、今後は毎年11月とする旨の会費前納制度の報告があり、了承された。

（６）学会費未納期間中の学会誌送付について

浦出会計担当常任理事より、学会費未納者の学会誌送付期間を、従来の２年間から１年間へと短縮する旨の報告があり、了承された。

（７）新入会員および退会者について

池上組織担当常任理事より、過去１年間の新入会員は46件、退会会員は35件であった旨の報告があり、承認された。

（８）学会費高額滞納者の会員資格喪失について

池上組織担当常任理事より、長期会費滞納者への対応について提案がなされ、審議の結果、会費納入意思が確認できない会員については会員資格を喪失させることとなった。この処置に伴い、会費納入意思のある会員を除外した結果、最終的な資格喪失者は24件となった。

（９）支部代表理事連絡会議の開催について

池上組織担当常任理事より、理事会に先立ち支部代表理事連絡会議を開催し、意見交換を行った旨の報告がなされ、了承された。

（10）学会あり方検討委員会からの報告

池上組織担当常任理事より、第二次「学会のあり方に関する検討委員会」の最終報告として、改革の進展状況および残された課題について報告がなされ、了承された。

（11）学会誌の編集について

秋津編集担当常任理事より、学会誌の編集状況について報告があり、了承された。

（12）学会費未納者の学会論文掲載の取り扱いについて

秋津編集担当常任理事より、学会誌論文の掲載は、掲載誌発行年度に会費納入があることを要件とする旨の編集委員会報告がなされ、了承された。

（13）個別報告の報告数の制限について

加古企画担当常任理事より、個別報告の報告数の制限に関して、１会員の筆頭報告上限数を、従来の２報告から１報告に改める旨の提案がなされ、審議の結果、承認された。

(14) 地域農林経済学会賞、同学会奨励賞、同学会特別賞および同学会学会誌賞の表彰について

宮崎学会賞担当副会長(学会賞選考委員長)より、地域農林経済学会賞、同学会奨励賞、同学会特別賞および同学会学会誌賞の選考経過ならびに結果について説明があり、以下の業績に対する表彰を行った。

(地域農林経済学会賞)

該当者なし

(地域農林経済学会奨励賞)

該当者なし

(地域農林経済学会特別賞)

橋本卓爾・大西敏夫・辻和良・藤田武弘編著

『地域産業複合体の形成と展開 ウメ産業をめぐる新たな動向』農林統計協会，
2005年7月

(地域農林経済学会学会誌賞)

小田切徳美・坂本誠「中山間地域集落の動態と現状 - 山口県における統計的接近 - 」
『農林業問題研究』第155号(第40巻第2号),2004年9月

Ageng S.Herianto ' Determinant Factors in the Adtion of Intensive Leaf Banana
Cropping System in a Mountainous Village of Java : Logistic Model Based on Plotwise
Data ' 『農林業問題研究』第155号(第40巻第2号),2004年9月

柏尾珠紀「女性農業経営における理念と実践 直売所活動を行う女性農業経営者を
事例として 」『農林業問題研究』第158号(第41巻第1号),2005年6月

(15) 名誉会員の推薦について

大石庶務担当常任理事より、本年度の名誉会員候補者は該当者なしである旨の報告があり、了承された。

(16) 第16期理事の選任について

大石庶務担当常任理事より、第16期理事候補者の選出方法、および選出された理事候補者名について報告があり、全39名の理事が選任された。

(17) 規程の改正について

足立庶務担当常任理事より、「会員種別に関する規程細則」の新設、および「学会誌賞規程」の一部改正、に関する提案が出され、審議を行った結果、すべての案が承認された。

(18) 次回大会について

辻井会長より、次回学会大会を石川県立大学(石川県)で開催したい旨の報告がなされ、承認された。

5. 宮崎副会長より閉会の挨拶がなされた。

以上

付1【2005年度事業報告】

自 2005 年 1 月 1 日
至 2005 年 12 月 31 日

1. 地域農林経済学会大会および支部大会・研究会

(1) 第 55 回地域農林経済学会大会 (2005 年 10 月 28 日 ~ 30 日)

場所 三重大学生物資源学部 (三重県)

テーマ 「グローバル化と地域農業・農村の展望
東アジア型農業・農村の視点から」

(特別シンポジウム)

テーマ「地産地消の展開と食農教育への新たな取り組み」

(共催シンポジウム)

テーマ「補助金のない農業? : 市場主導型農業が直面する課題」

(2) 支部大会・研究会

(2-1) 近畿支部 23 回大会 (2005 年 9 月 3 日)

場所 和歌山大学経済学部 (和歌山県)

テーマ「ウメ産業の現状と今後の課題」

(2-2) 中国支部第 45 回大会 (2005 年 8 月 2 日)

場所 岡山大学創立 50 周年記念館 (岡山県)

テーマ「米政策大綱下と米の新たなマーケティング戦略」

(2-3) 四国支部第 41 回大会 (2005 年 12 月 3 日)

場所 オークラホテル高松 (香川県)

テーマ「香川型農業における経営発展の地域戦略」

2. 学会誌『農林業問題研究』の発行

第 158 号 (第 41 巻第 1 号) 2005 年 6 月号 既刊

第 159 号 (第 41 巻第 2 号) 2005 年 9 月号 既刊

第 160 号 (第 41 巻第 3 号) 2005 年 12 月号 既刊

第 161 号 (第 41 巻第 4 号) 2006 年 3 月号 既刊

付2【2006年度事業中間報告】

自 2006 年 1 月 1 日
至 2006 年 9 月 30 日

1. 会員数の現状（9月30日現在）

名誉会員（22）、普通会員（464）、学生会員（156）、外国人会員（25）
賛助 A（2）、賛助 B（11）、賛助 C（6）

合計 686（参考：昨年同期 671）

2. 地域農林経済学会大会および支部大会・研究会

（1）第 56 回地域農林経済学会大会（2006 年 10 月 27 日～29 日）

場所 桃山学院大学（大阪府）

テーマ「地域農林経済学研究者の役割と評価 社会貢献の視点より」

（市民公開特別シンポジウム）

テーマ「食はエンタテインメントだ！ - 食の楽しみと食文化の再構築 -」

（ミニ・シンポジウム）

テーマ「食料純輸入国の農政デザイン - 市場開放と直接支払 -」

（2）支部大会・研究会

（2-1）近畿支部 24 回大会（2006 年 7 月 15 日）

場所 滋賀県立大学（滋賀県）

テーマ「地域から考える農業環境政策 - 滋賀県環境こだわり農業を中心に -」

（2-2）中国支部第 46 回大会（2006 年 11 月 27 日）

場所 近畿中国四国農業研究センター（広島県）

テーマ「広島県におけるバイオマス利用の方向」（仮題）

（2-3）四国支部第 42 回大会（2006 年 12 月 2 日）

場所 高知県園芸流通センター（高知県）

テーマ「未定」

3. 学会誌『農林業問題研究』の発行

第 162 号（第 42 巻第 1 号）	2006 年 6 月号	既刊
第 163 号（第 42 巻第 2 号）	2006 年 9 月号	既刊
第 164 号（第 42 巻第 3 号）	2006 年 12 月号	未刊
第 165 号（第 42 巻第 4 号）	2007 年 3 月号	未刊

付3【2007年度事業計画】

自 2007 年 1 月 1 日
至 2007 年 12 月 31 日

1. 地域農林経済学会大会および支部大会・研究会

(1) 第 57 回地域農林経済学会大会

石川県立大学（石川県）

(2) 支部大会・研究会

(2-1) 近畿支部 25 回大会

未定

(2-2) 中国支部第 47 回大会

未定

(2-3) 四国支部第 43 回大会

未定

2. 学会誌『農林業問題研究』の発行

第 166 号（第 43 巻第 1 号）	2007 年 6 月号
第 167 号（第 43 巻第 2 号）	2007 年 9 月号
第 168 号（第 43 巻第 3 号）	2007 年 12 月号
第 169 号（第 43 巻第 4 号）	2008 年 3 月号

付4 【2005年度会計報告】

損益計算書

自2005年 1月 1日

至2005年12月31日

1. 当期収入

科 目	2005年度 予算額 (1)	2005年度 決算額 (2)	差引額 (2) - (1)
(1) 会費収入	4,548,000	4,023,000	525,000
A) 普通会員	3,304,000	2,998,000	306,000
B) 学生会員	720,000	619,000	101,000
C) 賛助会員	524,000	406,000	118,000
(2) 入会金収入	28,000	40,000	12,000
A) 普通会員	10,000	12,000	2,000
B) 学生会員	15,000	28,000	13,000
C) 賛助会員	3,000	-	3,000
(3) 学会誌販売収入	480,000	387,945	92,055
(4) 学会誌論文掲載料等	2,790,000	2,271,821	518,179
A) 通常論文	156,000	104,000	52,000
B) 個別報告論文	1,792,000	1,092,000 *1	700,000
C) 別刷代	-	205,821	205,821
D) 超過頁代	842,000	870,000	28,000
(5) 大会関係収入	630,000	872,000 *2	242,000
A) 大会参加料収入	330,000	497,000	167,000
B) 大会要旨集収入	300,000	375,000	75,000
(6) 預貯金利息収入	1,000	749	251
(7) 広告料収入	160,000	123,000	37,000
(8) 雑収入	100,000	44,305	55,695
A) 複写使用料分配金	-	44,305	44,305
計	8,737,000	7,762,820	974,180

2. 当期支出

科 目	2005年度 予算額 (1)	2005年度 決算額 (2)	差引額 (2) - (1)
(1) 学会誌印刷費	4,583,275	3,823,344	759,931
(2) 編集委員会費	68,000	130,520	62,520
(3) 大会費	600,000	582,850	17,150
A) 案内状印刷費	-	89,250	-
B) 会場関係費	-	240,000	-
C) シンポ諸費	-	247,120	-
D) 実行委員会費	-	6,480	-
(4) 学会賞関係費	10,000	4,725	5,275
(5) 大会要旨集印刷費	300,000	395,850	95,850
(6) 会員名簿作成費	121,800	121,800 *3	0
(7) 組織活動費	230,000	147,740	82,260
A) 支部助成金	-	27,200	-
B) 会長派遣旅費	-	15,540	-
C) 組織活動費	-	105,000 *4	-
(8) 企画経常経費	20,000	-	20,000
(9) 事務業務委託費	1,708,140	1,692,704	15,436
(10) 庶務・会計経常経費	838,000	799,677	38,323
A) 会議費	5,000	-	5,000
B) 事務費	750,000	647,217	102,783
C) 旅費	73,000	152,460	79,460
D) 雑費	10,000	-	10,000
(11) 広告制作費	80,000	- *5	80,000
(12) 予備費	150,000	-	150,000
計	8,709,215	7,699,210	1,010,005

3. 当期剰余金

科 目	2005年度 予算額 (1)	2005年度 決算額 (2)	差引額 (2) - (1)
当期収入	8,737,000	7,762,820	974,180
当期支出	8,709,215	7,699,210	1,010,005
当期差引	27,785	63,610	35,825

貸借対照表

2005年12月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
現金	115,602	未払金	614,276
振替貯金	1,700,222	学会誌引当金	950,523
銀行普通預金	1,327,108	名簿作成引当金	269,900
郵便貯金	284,980	基金	4,194,488
銀行定期	3,527,921	会費前受金	1,636,000 *6
未収金	192,175	繰越剰余金	-580,789
		当期剰余金	63,610
計	7,148,008	計	7,148,008

(注)

*1 2004年度滋賀県立大学大会の報告論文。

*2 2005年度三重大学大会に係る収入。

*3 名簿作成引当金に繰り入れ。

*4 ホームページ管理費。

*5 広告作成費は、学会誌印刷費に含まれる。

*6 会員217名（賛助会員を含む）の会費前受金額

付5 【2006年度予算】

自 2007年 1月 1日
至 2007年12月31日

1. 当期収入

科 目	2006年度 予算	2007年度 予算(案)	差引額 (2007-2006)
(1) 会費収入	4,542,000	4,283,800 *1	258,200
A) 普通会員	3,269,000	3,178,700	90,300
B) 学生会員	785,000	751,500	33,500
C) 賛助会員	488,000	353,600	134,400
(2) 入会金収入	28,000	28,000 *2	0
(3) 学会誌販売収入	480,000	480,000 *3	0
(4) 論文掲載料等	2,104,450	1,963,000 *4	141,450
(5) 大会関係収入	630,000	780,000	150,000
A) 大会参加料収入	330,000	405,000 *5	75,000
B) 大会要旨集収入	300,000	375,000 *6	75,000
(6) 預貯金利息収入	1,000	1,000	0
(7) 広告料収入	120,000	80,000 *7	40,000
(8) 雑収入	100,000	100,000	0
計	8,005,450	7,715,800	289,650

2. 当期支出

科 目	2006年度 予算	2007年度 予算(案)	差引額 (2007-2006)
(1) 学会誌印刷費	3,940,195	3,849,475 *8	90,720
(2) 編集委員会費	50,000	140,000 *9	90,000
(3) 大会費	550,000	600,000 *10	50,000
(4) 学会賞関係費	10,000	5,000	5,000
(5) 大会要旨集印刷費	300,000	375,000 *11	75,000
(6) 会員名簿作成費	121,800	121,800 *12	0
(7) 組織活動費	200,000	50,000 *13	150,000
(8) 企画経常費	15,000	10,000	5,000
(9) 事務業務委託費	1,723,575	1,659,263 *14	64,312
(10) 庶務・会計経常費	823,000	845,000	22,000
A) 会議費	5,000	5,000	0
B) 事務費	720,000	750,000 *15	30,000
C) 旅費	88,000	80,000 *16	8,000
D) 雑費	10,000	10,000	0
(11) 予備費	250,000	50,000	200,000
計	7,983,570	7,705,538	278,032

3. 当期剰余金

科 目	2006年度 予算	2007年度 予算(案)	差引額 (2007-2006)
当期収入	8,005,450	7,715,800	289,650
当期支出	7,983,570	7,705,538	278,032
差引 当期剰余金	21,880	10,262	11,618

4. 期末繰越剰余金

	前期からの繰越		当期剰余金		次期への繰越
2005年度末(決算)	580,789	+	63,610	=	517,179
2006年度末(予想)	517,179	+	4,881	=	512,298
2007年度末(予算)	512,298	+	10,262	=	502,036

注：

- *1 会費納入算定基礎（名誉会員を除く）
各会員種別毎に予想会費収納率を掛けた数値を用いる。

	現員 2006.9.8現在		会費（円）	予想会費 収納率	予算額（円）
普通会員	478	名	7,000	95%	3,178,700
学生会員	167	名	5,000	90%	751,500
賛助会員 A	2	団体	46,000	85%	78,200
賛助会員 B	11	団体	24,000	85%	224,400
賛助会員 C	5	団体	12,000	85%	51,000
合計	663				4,283,800

- *2 例年程度の入会を想定。入会金は一律1,000円。

- *3 学会誌販売収入
買取価格@800×150冊×4号=480,000円

- *4 学会誌論文掲載料、超過頁代 合計 1,963,000 円
- 通常論文
掲載料 117,000 円 = 3本×3号×@13,000円
超過頁代 250,000 円(例年並み)
- 報告論文(2006年桃山学院大学大会分)
掲載料 1,176,000 円 69本×0.6(予想掲載率)×28,000円
超過頁代 420,000 円 69本×0.6(予想掲載率)×1頁(予想超過頁数)×10,000円

- *5 2007年大会参加料収入

	参加料（円）	参加見込人数	計（円）
一般	3,000	120	360,000
学生	1,500	30	45,000
合計			405,000

- *6 2007年大会要旨集収入。
150人×@2,500円=375,000円で見積もり。
大会要旨集印刷費に見合う経費を実費徴収する観点から、単価設定。

- *7 @20,000(B6)×4本=80,000円
2006年度の間接報告に基づく想定。

- *8 学会誌印刷費

	印刷単価（円）	頁数	計（円）
通常論文印刷費	10,238	210	2,149,875
大会報告論文印刷費(2007年大会分)	7,560	210	1,587,600
表紙カラー化対応経費			40,000
広告対応経費	3,000	4	12,000
広告制作費	10,000	6	60,000
合計			3,849,475

(注)印刷単価は、税込み。

- *9 例年の実績。

- *10 案内状印刷費・封筒代・葉書代などの準備費、会場関係費、実行委員会費。
細目は大会実行委員会で決定する。

- *11 大会要旨集収入に同額。

- *12 3年に1度の名簿代の印刷費・情報収集整理費の積み立て。
121,800 円 = 365,400円 ÷ 3年

- *13 支部研究会助成費、会長派遣旅費。学会HP管理費は削除。
支部助成費は、支部大会案内状郵送費(北陸・近畿・中国・四国支部会員数×@80円)として見積もり。

- *14 事務業務委託費

会員数 (含名誉会員)	単価（円）	小計	税	合計
685	2,450	1,678,250	83,913	1,762,163

ただし、会費高額滞納者40名を除いた金額とする。

- *15 学会誌郵送費、通信費、封筒印刷費など。

- *16 常任理事会等出席交通費。

付6【2006年度常任理事会・大会実行委員会】

（常任理事会）

第5回地域農林経済学会常任理事会

2005年12月18日

京都大学

第6回地域農林経済学会常任理事会

2006年2月18日

京都大学

第7回地域農林経済学会常任理事会

2006年4月22日

京都大学

第8回地域農林経済学会常任理事会

2006年9月30日

京都大学

（大会実行委員会）

第3回地域農林経済学会大会実行委員会

2006年4月22日

京都大学

第4回地域農林経済学会大会実行委員会

2006年9月30日

京都大学

* 学会賞選考委員会報告は、『農林業問題研究』をご覧ください。